



発行所
氷川神社社務所

〒166-0003
東京都杉並区高円寺南4-44-19
電話 03-3314-4147
FAX 03-3315-0034
<https://koenji-hikawa.com/>

発行責任者
松井 美加子



新しい時代を迎えた高円寺氷川神社

奉祝 天皇陛下御即位

新時代を迎えるにあたり

社頭所感

新元号の始まりにあたり、謹んで御国の安寧を祈念申し上げますと同時に、日頃からお世話人となっている氏子崇敬者や関係者のご健勝とご多幸を祈念申し上げます

平成の御代から令和の御代へと替わりました。「平成」という時代を振り返ると、交通網や情報網を中心としたインフラの整備が加速し、私たちの生活が非常に便利で豊かになりました。一方でバブル経済崩壊後の景気停滞、他国には類を見ない多くの自然災害が発生するなど社会が大きく揺らいだ時代でもありました。新時代では改めて大自然の存在に感謝し、共存していくという考えを日々の生活で意識することが肝要と考えております。

高円寺氷川神社においても「平成」は色々なことがありました。特にこの一年はまさに激動でした。先代宮司の山本雅道が体調不良となり、宮司を引き継ぐことになり、関係者の御尽力もあり平成三十年四月に無事に宮司に就任することができました。その直後にこれまで見守って下さった山本雅道は帰幽されました。昨夏より神社の職員も一新され新しい体制となりました。氏子の皆様が神社を身近なものと感じてもらい、また気軽に神社にお越し戴けるような環境づくりを地道に続けてきました。少しづつですが、皆様との距離も近づいてきていることを感じてます。人生や世の中はお天気と同様に晴の日もあれば、嵐の日もあります。しかし常に明るい希望を胸に持ち一歩一歩前に進んでいきたいと思えます。

戦争のなかった平和な「平成」から「令和」へ。私達も皆様一人一人とのつながり「和」を神様の御心を仰ぎつつ、大切にして参る所存であります。これまでの先代の方々が築き上げてきた伝統や歴史を継承しつつも、新たな時代に対応すべく、日々知恵を絞り、身体を動かして、汗をかき、着実に実行していく所存です。

皆様にとりましては新たな時代が素晴らしいものとなるように心より祈念申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

令和元年五月吉日 高円寺氷川神社 宮司

松井 美加子

◆氷川神社ご由緒

江戸名所絵図によれば、その昔、源頼朝による奥州征伐時に、武蔵国杉並の地に至り給り際、隋兵の中に高円寺村にとどまり、終に農民となる者あり。

一説によれば、村田兵部稟云々ともいわれ(因みに村田姓は高円寺の旧家なり)、その時、武蔵国大宮高鼻の本社よりの御神意の使者が同氏に伝え、この高円寺村の位置高く採松杉繁多し遠く木田を望みて風致絶佳とされる当地に社殿を建立したのが起源といわれている。従って農業の神とされている。

大正6年8月15日編纂の東京府豊多摩郡神社誌によれば、当社は古来、高円寺村小名原の鎮守にして旧時曹洞宗高円寺別当職として奉仕せり。高円寺は往年数回々祿の災いあり。旧記を焼火して社伝明らかならざるも口碑によれば、天文の頃、高円寺創建と同時に瓶記されたるものなりと云う。

明治維新後、別当職を廃し、明治7年4月3日、社格を村社に被定し、同40年5月4日、神饌幣帛料供述神社に列し、同40年12月26日、会計規則適用方指定せられたり、太平洋戦争後、即ち昭和20年8月15日以降は宗教法人氷川神社となり現在に至る。

◆御祭神 素戔鳴尊(スサノオノミコト)

素戔鳴尊は伊邪那岐命(いざなぎのみこと)が黄泉の国から帰還し、筑紫の日向の橘の小戸の阿波岐原で禊を行った際、鼻をすすいだ時に誕生したとされている。姉は天照大御神である。誕生後、父である伊邪那岐命から「海」を治めるように命じられたが、母である伊邪那美命(いざなみのみこと)のいる根の国に行きたいと断ったところ、伊邪那岐命の怒りを買って追放されてしまう。そこで根の国へ向かう前に姉の天照大御神に別れの挨拶をしようと高天原に上るが、天照大御神は弟が攻めてきたと思い、武装して対応した。素戔鳴尊は疑いを解くために、誓約(うけひ)を行い、自らの潔白を証明した。その後は、高天原に居られることをいいことに次々と粗暴を働き、天照大御神は恐れて天の岩屋に隠れてしまった。そのため、高天原から追放されてしまった。その後、素戔鳴尊は出雲の国へ降り立った。その地を荒らしていた巨大な怪物、八岐大蛇(やまたのおろち)への生贄にされそうになっていた美しい少女の櫛名田比売命(くしなだひめ)と出会う。素戔鳴尊は知恵を振り絞り戦略を講じ、八岐大蛇を退治する。そして八岐大蛇の尾から出てきた草薙剣(くさなぎのつるぎ)を天照大御神に献上し、それが古代天皇の権威となる三種の神器の一つとなる。(現在は愛知県名古屋市の熱田神宮の御神体となっている)その後、素戔鳴尊は櫛名田比売命を妻として、出雲の須賀の地へ移り、そこに留まった。

「令和」という新しい時代に入り、氷川神社の歴史を振り返りたいと思います。今月号と来月号では、神社に残されている文献や写真などを紹介しつつ氷川神社のこれまでの歩みを皆様と共有出来ればと思います。今月は先々代宮司の山本実の時代を中心に紹介します。

氷川神社の歴史を振り返る①



神額(氷川宮)



素戔鳴尊神社宝物

◆例大祭 (毎年八月最終土日に斎行)

年間を通して執り行われるお祭りの中で最も重要な神事です。一年間の感謝と今後一年の国家、氏子の安寧を祈念します。昭和32年の開始から現在に至り、毎年8月最終土日に開催される「高円寺阿波踊り大会」は元々高円寺氷川神社への「奉納踊り」として始まったものです。



高円寺阿波踊り大会の様子



例大祭の様子

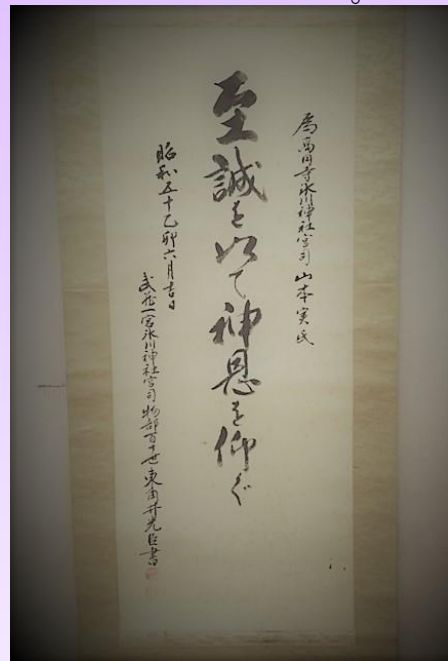
◆横山壮五郎氏の宮司就任

明治から大正にかけて(詳細な時期は不明)国鉄(現在のJR)東中野駅の駅長を務めていた横山壮五郎氏に対して氷川神社氏子から宮司に就任してほしいという総意があった由。(当時の氷川神社は神職不在だったと言われている)

横山壮五郎氏は国鉄を退職後、氷川神社の宮司として奉職し、退職金を元手に、氷川神社を整備したと言われている。氏子が熱望した氷川神社宮司誕生がこの時であった。

◆山本実への代替わり

山本実は信州の生まれで、大正時代に上京、高円寺に生活の場を求めた。(詳しい経緯は不明)その後、横山壮吾郎氏の娘である横山薫さんと結婚することになり、結婚後、神職資格取得のため、国学院大学で学び、卒業後、横山壮吾郎氏の後を継ぐ形で氷川神社の宮司に就任した。山本実は積極的に氏子の家を訪ねて、コミュニケーションを図った。また元々は画家を志していたというほど絵画の才能に恵まれており、「実峰(じつぽう)」という名前で絵画活動をしてきた。今でも氏子地域の各所には山本実の絵画が残っていると言われている。



氷川神社総本社である武蔵一宮氷川神社の東角井光臣宮司(当時)から山本実へ戴いた掛軸



先々代宮司の山本実



横山壮五郎氏



(上)絵画の才能があった山本実の作品の中でも秀逸な作品である「式年遷宮」(現在も氷川神社大広間に飾られている)

国学院大学時代の明治神宮正式参拝



国学院大学卒業式
最前列右から3人目が山本実



陸軍傳書鳩調査委員会事務所開所式



會旗奉告祭紀念撮影(昭和10年5月12日)



高円寺駅開駅十五周年記念祭祭典(昭和11年4月7日)



二・二六事件當日會旗奉告祭



旭町陸會元旦祭



区立高円寺中学校PTA会長
区立中学校PTA協議会副会長
山本実

山本実は高円寺中学校PTA会長、区立中学校PTA協議会会長を務めてました

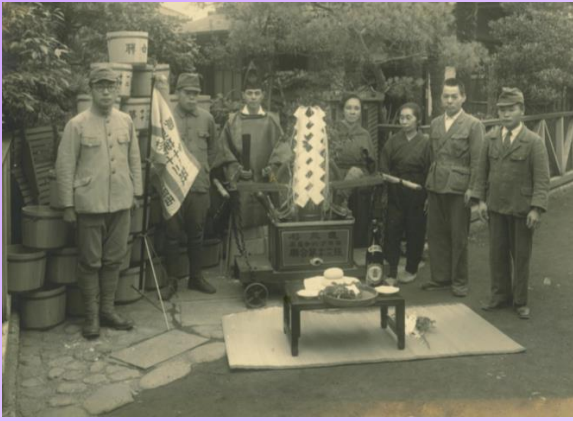


杉並第八小学校生徒による境内清掃



幸運なことによくの写真が残っておりました。社報ではすべてを紹介することはできませんが、一つ言えることは、当時は人生の節目の出来事がある時は必ず神社に集まり、皆で弥栄、安寧を祈願していたことだと思えます。氏子の方々が常に神社に集まっていたことがよくわかるといえます。





山本実の時代は戦時中と重なっていたこともあり、まさに激動な時期であったと思います。昭和20年には空襲により神社社殿が全焼してしまいました。無事に新築し再出発をしたこともありました。当時の関係者はほとんどご生存されていませんが、氷川神社に係った全ての方々へ改めて敬意を表したいと思えます。また長きに渡り氷川神社を護って戴いた山本実へも改めて感謝の意を示したいと思えます。



(左)山本実
(右)山本雅道

氷川神社の匠

〜其の七〜

昨年9月より開始した日々の境内清掃は順調に進んでおり、日々神社が清らかに変化していくことを実感しておりますが、それに加えて境内各所や備品などの修復、整備も並行して開始しました。金子さんと山本さんが中心となり、老朽化、損傷したものを丁寧に手作業で修復し、新たな命を吹き込み、また新たなものを作り出してくれています。

今月紹介するのは「境内の植樹」です。境内には大銀杏がいくつかありますが(杉並区保護樹林)大銀杏以外では、梅の木があるだけでした。今回、梅の木の補強作業に加えて、新たに檸檬(れもん)とすみれを植樹して戴きました。綺麗に咲くすみれや檸檬が、少しでも境内を華やかにしてくれることを期待します。



檸檬の木を植えて戴きました



梅の木を補強



すみれの花を植えて戴きました



はなぶさマンション 地鎮祭(三上英子さん)



4月4日(木)には、はなぶさマンション(高円寺南4丁目)の地鎮祭に氷川神社として奉仕させて頂きました。

施主の三上英子さんは長きに渡り、氷川神社の氏子総代責任役員を務めて戴き、本当にお世話になっております。この度、マンションを新築されることになり、地鎮祭を斎行させて頂きました。三上英子さんは95歳とは思えない元気なお姿を見せて下さいました。設計者、施工者、工事に関係する全ての皆様が安全に過ごせるように祈念申し上げます。



三上富三さんによる玉串奉奠



建設現場



神酒拝戴



鍬入れの儀



参加者で記念撮影 (中央が三上英子さん)

田中良 杉並区長を囲む会

4月3日(水)に、田中区長を囲む会が開催されました。(於京王プラザホテル)

会場には多くの参加者で盛会になりました。衆議院議員の石原伸晃代議士、片山さつき内閣府特命大臣(参議院議員)をはじめ、多くの来賓の方が激励の挨拶をされました。時間の許す限り一人でも多くの方とあいさつさせて頂きました。

ご挨拶をされる田中区長



大勢の参加者で賑やかにまりました

(株)毎日放送(MBS)

気象神社 (晴天祈願祭)

気象神社では個人・法人向けの気象にまつわる様々な祈願祭を執り行っていますが、今回は毎年晴天祈願にお越しになる法人様を紹介したいと思います。

3月14日(木)に(株)毎日放送様が晴天祈願の為に御来臨されました。

2万7千人の参加者

好天の元、ウオーキングに励む参加者



第九回高円寺演芸まつり

報告会・懇親会

3月28日(木)に、第九回高円寺演芸まつりの報告会と懇親会が氷川神社大広間で開催されました。高円寺の4大まつり。一春はびっくり大道芸、夏は高円寺阿波踊り、秋は高円寺フェス、そして冬が「高円寺演芸まつり」です。高円寺には三味線漫談の柳家紫文師匠がお住まいという話もあり、独自に落語会を開く店がいくつもあ

ご挨拶をされる高田芳作さん(実行委員長)



東京都神道青年会 定時総会

4月10日(水)に、東京神道青年会の定時総会、が開催され、参加して頂きました。(於東京都神社庁) 今回の総会では、役員交替の議決もありました。今年には御代替わり、新天皇陛下御即位もあり、特別行事が多々ありますので、可能な限り各種活動に参加、協力していきます。

総会終了後は、懇親会が開催されました。(於明治記念館) 現役員、賛助会員が集まり、交流を深めました。

渥美昌泰さんが晴天祈願にお越しになりました。イベント当日3月21日(奈良県奈良市平城宮跡歴史公園朱雀門広場スタート)は事前の天気予報



(左)渥美昌泰さん

では「嵐」「豪雨」だったようですが、その予報を覆し、晴れて暖かい日になったようです。参加者も2万7千人ほど集まり盛況だったとのこと。同社は3月にももう一人の社員のほうが晴天祈願にお越しになっており、かつ以前も参拝にお越しになって下さっています。そのように継続して参拝される姿勢こそが晴天に結び付いたものと思います。また来年もお越しになるのをお待ちしております。

関係者で労をねぎらいました



今回の報告会・懇親会に場所に氷川神社が選ばれたことを有難く思いました。今後も地域の皆様が気軽に氷川神社にお越し戴いたり相談しやすいような環境づくりに努めて参ります。



懇親会の様子

★「こうえんじん」★

第十二話

氷川神社の運営に日頃からご協力戴いている方々にそれぞれの想いを自由に語って戴きます。

題名の「★こうえんじん★」は「こうえんじ(高円寺)」と「じん(人)」を組み合わせた言葉(題名)です。第十三話は氷川神社総代を務めて戴いている本目春夫さんです。



ほんめ はるお
本目 春雄
高円寺南五丁目町会会長

「日本の神様はやさしい」

高円寺氷川神社総代を務めさせて戴いている本目春夫です。私はNASDA(現在のJAXA)で宇宙開発に携わってきました。驚かれるかもしれませんが、失敗のないロケット、人工衛星の打ち上げはありません。数百億円の人工衛星が全損してしまったことも少なからずありました。計画立ち上げから十年以上かけて設計、制作、試験検査と作業を進め、種子島宇宙センターから打ち上げます。「人事を尽して天命を待つ」わけですが、なかなか落ち着かず、我々は神様にすがります。

御参りするのには種子島宇宙センターの南端に接している竹崎にある宝満神社です。普段は無人ですが、ロケットの打ち上げなどの大きなイベントがあると、お社の床に地元南種子島特産の芋焼酎「南泉」の一升瓶が溢れかえります。ちなみに種子島は北から西の表市中種町、南種町の二市二町ですが、各市町に各々特産の芋焼酎があり、島全体で一つの黒糖焼酎があります。



種子島宇宙センター

筑波宇宙センター



2003年HIIA
打ち上げ

実際、私は種子島でロケット打ち上げに参加したことはありませんが、筑波の宇宙センターで人工衛星ロケットから分離した後の追跡管制に関わり、その際は筑波神社にお参りしていました。ロケット打ち上げは宝満神社、人工衛星の追跡管制は筑波神社、諸々の日本の宇宙開発のミッション達成には日本全国の神様が見守って下さっているのではないのでしょうか。



自宅のムラサキダイコンに
囲まれて愛犬と

自己紹介



氏名 : 本目 春夫 (ホンメ ハルオ)
生年月 : 昭和15年3月13日
出身地 : 渋谷区千駄ヶ谷
血液型 : B型
趣味 : ハイキング、歩くこと、読書
特技 : 特になし
座右の銘 : 義理欠く、恥欠く、人情欠く
高円寺お薦めスポット : 気象神社
一言 : 宜しくお願いします

NASDAを始め宇宙開発に関係している会社のロケット、人工衛星担当部署には神棚があります。ロケットの打ち上げ時、「Go!」「No!」の最終判断は気象屋さんの肩にかかっています。ロケット打ち上げの最終判断は打ち上げ二時間前の風観測、および発射性の観測データに基づき判断されます。私が現役時代に気象神社の事を知っていただければ少しは担当者の肩を軽くしてあげたかもしれません。

★ 高円寺氷川神社と阿波おどり ★
第十四話

氷川神社の運営に日頃からご協力戴いている方々にそれぞれの想いを自由に語って戴きます。

題名の「★こうえんじん★」は「こうえんじ(高円寺)」と「じん(人)」を組み合わせた言葉(題名)です。第十四話はパル商店街振興組合理事長を務めている河原一さんです。



高円寺パル商店街振興組合 理事長 豊喜屋

かわはら はじめ
河原 一

「高円寺氷川神社と阿波おどり」

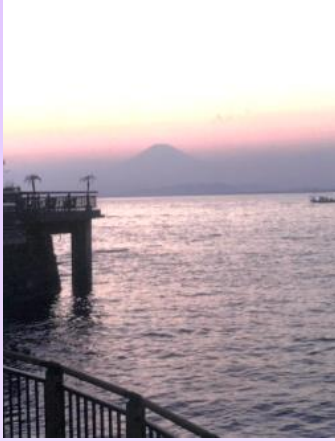
私は今年で六十六歳になりました。大学卒業後、他人の釜の飯を食べた三年間を除いて、ここ高円寺で暮らしてきました。現在パル商店街で寝具・阿波おどり用品の店を営んでいます。私の曾祖母が大正時代の初め頃に深川木場で呉服店を開業しましたが、関東大震災で被災し祖父が私の父(当時二歳)を背負い吉祥寺の知人宅に身を寄せました。翌十三年、縁あって高円寺で店を再開し、今年で高円寺創業から九十五年です。祖父から数えて三代目になります。幸い息子が跡を継いでくれ、四代目として一緒に働いております。昨年には初孫(男児)も誕生しました。

高円寺といえば阿波おどりです。そして今年もまた阿波おどりの季節が近づいてきました。今年で六十三回を数えます。昭和三十二年八月十三日、現在のパル商店街に青年部が発足、記念に何かやろうと始まったのが阿波おどり(ばかおどり)でした。第六回(昭和三十七年)から参加している私は小学生の時、当日昼間は氷川神社の祭礼で町内の神輿を担ぎ、夜は阿波おどりに参加するという楽しい二日間だったことを思い出します。



高輪泉岳寺

時間があれば奥様と一緒によく出掛けます



江の島から見える富士山

豊喜屋の店構え



品川宿

パル商店街を進む
阿波おどり



自己紹介

氏名 : 河原 一(カワハラ ハジメ)
生年月日 : 昭和28年4月19日
出身地 : 高円寺南3丁目
血液型 : A型
趣味 : 都内近郊散歩、映画鑑賞
特技 : 特になし
座右の銘 : 後悔しない、為せば成る
高円寺お薦めスポット : 氷川神社、桃園川緑道、商店街
一言 : 一駅手前で降りる

～神社より～

今月は本目さんと河原さんを紹介させていただきました。本目さんは神社の総代を務めて戴いており、河原さんには神社の半纏制作などで日頃から大変お世話になっております。本目さんが宇宙開発に携わっていたことに驚きました。河原さんは先代からのお店をしっかりと守りつつ、さらに地元活性化に貢献している様子がうかがえました。お二人のことを改めて知ることができて、とても有難かったです。これからも一人でも多く紹介していきたいのでご協力をお願い申し上げます。

高南宝扇会 お花見の会



3月31日(日)に「高南宝扇会」のお花見の会、於善福寺川緑地に参加してきました。

当日は役員の方々が早朝から場所取りや、豚汁作りをして準備を進めてくれました。午前中は曇り空で肌寒い天候でしたが、開始時間になると、太陽も顔を出し、暖かい日差しに恵まれました。参加者は70人を超えて、食事をしたり、話したり、歌を歌ったりしておおいに盛り上がりました。



善福寺川沿いの桜並木



手作りの豚汁



恒例の歌の唱和



◆ 気象神社の絵

細部まで美しく描写された気象神社



先日、ある参拝者がお越しになり、気象神社の絵を書いて戴きました。とても上手で素晴らしい絵の仕上がりに周りいた参拝者も驚いていました。



◆ お知らせ

◆ 「新設! 所 JAPAN」に気象神社が登場

5月20日(月)22時よりフジテレビにて放送される「新設! 所 JAPAN」に気象神社が登場予定です。

所ジョージさんが日本にまつわる不思議な謎に切り込む知的バラエティー番組です。5月20日放送回のテーマは「日本人と天気」ということもあり、気象神社にロケにお越しになりました。お時間があれば是非ご覧戴ければと思います。



◆ 気象祭の斎行

6月1日(土)14時より気象祭を斎行します。日本では気象庁が毎年6月1日を「気象記念日」と定めております。この気象記念日に合わせて毎年気象祭を斎行しております。

今年の気象祭は祭事に加えて子供向けのイベントなども実行予定です。また普段から気象神社に祈禱にお越しになつてくださる法人個人の方々も招待する予定です。氏子地域の皆様も是非お越しになつて戴ければ有難いので、宜しくお願い申し上げます。

～ 気象祭 ～

日時：令和元年6月1日(土) 14時開始
場所：気象神社(雨天決行)

※境内でも子供向けイベントなどを開催予定です。(内容は未定)

お問い合わせ

氷川神社 03-3314-4147

◆ お詫び

先月号(157号)12ページの編集後記文章内で誤りがあつたので、お詫び申し上げます。(誤「省庁」(正)「象徴」)



編集後記

ひかわ158号をお送りしました。いよいよ御代替わりとなり、「令和」の時代の幕開けとなりました。平成の時代は自然災害が多かったため、令和の時代は自然と共生できるように、日頃から自然の恵みに感謝していきたいと思ひます。時代が変わっても、日々氏子地域を護つて下さる皆様様に感謝して、日々地道に努力をしていきたいと思ひます。